

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年1月19日（水）
13時30分～15時12分
全 員 協 議 会 室

【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 近重係長、小寺書記

議題

- 1 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料1
 - (1) 第11号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 2 読者アンケートに寄せられた意見の振り分けについて…………… 資料2
 - (1) 寄せられた意見と振り分け先の確認
 - (2) その他

- 3 浜田市議会HPについて…………… 資料3
 - (1) 委員間で意見共有
 - (2) その他

- 4 広報広聴機能の整理について…………… 資料4
 - (1) 今後の取組方針を協議
 - (2) その他

- 5 その他
 - (1) 島根県立大学との共同研究について

【次回委員会開催予定日】 令和4年2月17日（木） 13：30～ 全員協議会室

【議事の経過】

[13時 30分 開議]

三浦委員長

議会広報広聴委員会を始めたい。出席委員は10名で定足数に達している。今日の議題は配信のとおり進めていきたい。

1. はまだ議会だよりminiについて

(1) 第11号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長

今度11号が発行されるが、その掲載内容と原稿の担当について決めていきたい。まず小寺書記から説明をお願いする。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

掲載内容について、2月1日発行のはまだ議会だよりの内容も含め、3月1日発行のminiに掲載すべき事項について皆から少し意見をいただきたい。いかがか。

これに限るものではないが、今日の議会運営委員会で特別委員会の設置が決まったこととか、今後コロナの対策支援本部が設立されるとか、直近では大きな動きとしてあるかと思っているが、2月1日の本誌には掲載されないので、フォローする形で3月1日に拾ってもよいかなど、今日の議会運営委員会を受けて思った。

これに限らないので、皆から意見あるいは今提案した内容について意見をいただければと思うがどうか。

川上委員

先般、病児病後児保育施設がオープンした。広報はまだには多分出てくると思うが、もしも広報はまだに出なかった場合は、福祉環境委員会かどこかで一度中に入ってもらって、状況を見てレポートを出していただきたい。

三浦委員長

ご提案感謝する。福祉環境委員会のほうでそういったご予定があったりするか。

小川委員

内覧会が予定されていたが中止になってしまった関係で結局行けなかった。外からしか見ることができてない。

福祉環境委員会の重要案件の予定も中止になったので、強いて言えば、それに限ってつくろうと思えばつくれないこともないかもしれない。病児・病後児保育の関係と休日診療所のことを。あればその程度だと思う。重要案件がなくなったもので、ここはまた取り組み課題のテーマ協議を、この委員会から具体的に始まる

ので。委員会とすればそのくらいの内容になると思う。もし要望があればその辺で少し考えてもよいと思う。

川上委員

できたらもう1か所、子育て世代包括支援センターも多分3月末でオープンするはずなので、それもどこかで入れてもよい。どちらか一つ上げてもらとうれしい。両方は出せないだろうが、その辺を少し検討してもよいかと思う。

川神副議長

今の話でいくなら子育て支援センターもよいが、むしろ病児・病後児や休日診療。これは市民生活に直結していて、場所が変わることは皆ご存じだが、いよいよそこでそういったことが行われるということを見ると、案内もそうだし内覧会が中止なら例えば正副委員長くらいが行って、何か撮影しながらコメントをいただくということで対応しても全然問題ないのでは。むしろ外からはあそこを通るたびに誰も見ているが中には入っていないので、そのあたりは一步踏み込むということでは議会の中で取り上げることとはとても大切なことではないかと思っている。

三浦委員長

確かに、中の実態も市民は少し知りたいかということがある。すごく市民の関心が高いので本誌で取り扱ってもよいくらいだが、ちょうどオープンしたという时期的な情報の新鮮さからいくと、3月1日発行のminiで扱ってみて、もっとということであれば本誌でまた。委員会活動レポートもあるし、そういったところでもよいかと思う。

皆いかがか。病児・病後児保育の施設についての、議会視点でのオープン後の現状を載せたらどうかというご意見に対して。担当の小川委員長からもそういう要望があればとご理解もいただいたように思うので、miniの中で取り上げてもよいのではないかと思うがよろしいか。記事の量だが、写真などを少し多めに載せるということであればどうだろう。今二つ載せているが、一つで写真を少し多めに使っていただいてもよいと思う。今までの記事の枠だと写真を載せると文字量もかなり少なくなると思うので。どうだろう、3月1日は病児・病後児保育の、あの施設の現状をレポートいただくということでもよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそこは小川委員と副委員長にもご相談されるとのことだったので、少し福祉環境委員会にお願いするような形になるが、小

川委員長、担当ということでもよろしくお願ひできたらと思う。

議長日誌については、事務局とこちらで少し相談させていただくような形を取りたいと思う。あと議員のつぶやき、前はプリズンサークルを上野委員に書いていただき感謝する。今回また別の委員にお願ひしたいと思うがどなたか。まだつぶやいてない方につぶやいていただきたいが。大谷委員、何かアイデアがあるか。

大谷委員

新人で順番にでもやれということであれば担当する。

三浦委員長

感謝する。大谷委員に担当いただきたい。内容は本当に決まっておらず、今まで川上委員が結構自発的に書いてくださっており、その時々市の特産品を紹介してくださるなどした。身近な部分で紹介したいテーマがあれば選んでいただけたらと思う。

では3月1日発行のminiについてはこれで進めたい。よろしくお願ひする。

(2) その他

三浦委員長

miniについて、ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

では議題2に移る。

2 読者アンケートに寄せられた意見の振り分けについて

(1) 寄せられた意見と振り分け先の確認

三浦委員長

まず紹介を小寺書記からお願ひする。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

小寺書記、意見の3、福祉環境委員会と産業建設委員会のところが二つになっている経緯も補足で説明いただけるか。

小寺書記

Q2の自由意見の3番、相生町の方からのご意見なのだが、子育てのことで公園について触れておられる。福祉環境委員会でも子どもの遊び場というところで要望書を出されているので、福祉環境委員会で子どもの居場所・遊び場づくりがあるかなというところ、市として公園の担当課が維持管理課が産業建設委員会となるので、二つの委員会に分けてこういった意見があるということを協議していただきたいと思っている。

三浦委員長

今説明があったように、寄せられた意見に対して所管委員会、振り分け先を提案させていただくものだが、先ほどの二つにまた

がっているQ2の3も含めて、皆から何かご意見があれば承りたい。

(「なし」という声あり)

特段ご意見がないようなので、ご提案させていただいた振り分け先で各常任委員会に振り分けたい。よろしく願います。

(2) その他

三浦委員長

その他何か皆からあるか。

小寺書記

この振り分け先でよいということであれば、各委員長に依頼文を出させていただき、26日以降の常任委員会などでご協議をお願いしたい。委員におかれてはこちらも改めてよろしく願います。

三浦委員長

各委員長宛ての文書については、これまでのものを踏襲して送らせていただく。

3 浜田市議会HPについて

(1) 委員間で意見共有

三浦委員長

本日まで現行のホームページを皆に見ていただき、意見を事前に出していただいている。ご協力に感謝する。本日は意見交換をするところにとどめたいと思うが、皆から現行ホームページについていただいている意見を少し、補足も含めて伺う。

事前に事務局のほうでテーマごとに割り振らせていただいているので、ご了解願う。

まずトップページ関係なのだが、上から順に行こうと思う。まず大谷委員からご意見をいただいているこの部分に関して、ご紹介と補足があれば願います。

大谷委員

トップ画面を下に持っていけばまたいろいろと見えるところだが、そうする前の最初に出てくる画面の中に、必要な項目が盛り込まれているといろいろな意味でつながりやすいということがあるので、そういう画面構成にしたほうがよい。トップ画面が一番大事なので、改善して、よりよく。極端に言えば、これは本当に議会のトップ画面かというくらい親しみを持った状態にすべき。

沖田委員

まずトップページだが、相対的な意見になると思うが、この話をいただいて自分のスマホで浜田市のホームページを見てみたが、スマホで見たらほとんど何があるかもわからないというのが率直な意見だった。それ以外のいろいろな議会のホームページとはど

のようなものだろうと見たときに、やはり一番目を引いたのは大津市議会。スマホでも非常に字が大きくて見やすい。

興味ある人だったら目的を持って見るので、広げてでもそのページを見られると思うが、何となく見た人が、まず何を見たらよいか、今の浜田市議会ホームページでは少しわかりにくいかと。そうしたらとりあえず何らかのトピックス、飛びつきやすいようなものが出てきたほうが、より皆にわかりやすく、親しみを持ってもらえるような気がした。

川神委員

今沖田委員が言われたこととほとんど変わらないが、基本的にはホームページというものは、見たときの読者のイメージ、それからトップページから感じられるところで、ほぼ半分以上が決まると思う。先ほど、目的を持って探すときには探しやすい組み立てが一番大事だろうが、何となく昔でいうネットサーフィンみたいな形でいろいろ渡り歩くときに、おもしろいと思わせるのは、やはり今何が起きているのかが率直に伝わってくる、今浜田市議会はこのようなことで一番熱く燃えているということを訴えかけるのが議会ホームページなのかなと。それと同時にいかに検索しやすいトップページに入れるか。そういう組み立ても大事なのだが、まずは不特定多数が見たときに、今このようなことで浜田市議会がとにかく議論しているのだとわかるのが一番かと思ってこのような意見を出している。

村武副委員長

私も皆がおっしゃったようにトップページが非常に重要だと思っている。市民から、議会、議員が何をしているかわからないともよく聞くのだが、そういった方が例えば浜田市議会ホームページを見られたときに、こういったことなのだとわかりやすいように、私はメニューバーの項目が少しわかりにくい。我々ならわかるかもしれないが、市民がすぐわかるようにしたほうがよいのかなと思った。何人か若い方にも浜田市議会ホームページを見ていただいて意見を聞いたところである。その中で、広島市議会のホームページが大変見やすい、わかりやすいのではないかという意見が多くて。広島市議会のトップページのメニューバーは、市議会とはとか、議員紹介とか、本会議、委員会、すごく、ぱっと見てわかりやすい。このページを開いたらこうなのだというのが出ていた。とにかくメニューバーの項目をわかりやすい言葉にする

三浦委員長

ことが必要なのかと思った。

私の意見もここに一つ書かせていただいているのだが、ほかのところにもかかってくるのだが、皆とほぼ類似していて、先ほど副議長がおっしゃったように、今議会としてこれに取り組んでいるのだ、こういうことを伝えたいのだということをしっかりトップページで表現していくほうがよいのではと思っている。

次のデザイン関係の部分に係ってくるのだが、メニューの整理などもしていく必要があるかと、私はトップページで思っている。デザイン関係も、沖田委員が先ほど言われたような意見か、村武副委員長も。小川委員、ご意見をいただけるか。

小川委員

PDFファイルなどをスマホで見るとき、どうしても名前から最後のメールアドレスまで行くときに、スクロールするときに、1行ごとに色分けしてあったら見やすいかと思った。

それと、色覚特性というか、そういう方から見たときに果たしてどうなのか。僕らは全然そういうことがないもので普通に見られるのだが、例えば色の使い方によってはもしかしたらすごく見えづらいということもあるのではないかと思ったもので、そういったところの配慮もいくらかは。デザインとカラーの関係も少し検討されればよいかと。これはすぐということではなく、そういう方からの意見を聴く機会がないもので。もしそういう特性を持っておられる方に見てもらったときに、色使いはこうあるべきではないかという意見があれば反映してもよいかと思った。

上野委員

あちこちの市議会を見たが、年をとったらぱっと見てすっきりしていて入りやすい市議会もあったが、それと比べるとごちゃごちゃしている気がする。また、意見を出した後いろいろ見てみたら、まだすっきりした市議会ホームページがあった。もっとすっきりしたほうがよいかという気がした。

川神委員

これはもう見た感じ、色分けされたほうがよりわかりやすいのと、楽しい。楽しいと言えば語弊があるかもしれないが。いろいろなことで議会情報を収集しようと思ったときに、画面のカテゴリーが変わることによって色合いが変わるとより見やすく理解しやすくなるのかなと。また、ホームページ自体がカラフルになることによって、何となく取つきやすくなるのではないか。

村武副委員長

先ほどもトップページのことを言ったが、スマホ対応のページ

があまりにも質素なので、ここはぜひ変えていただきたい。

三浦委員長

先ほど副議長も言われたが、全体的に浜田市議会のホームページは固い感じがする。色的にも。もっと親しみやすい感じにしてもらったほうがよいかと思った。

私の意見も皆ととても近い。わかりやすくしておくのがとても大事だと思うので、少し文字で説明し過ぎる。文字がとても多くて、どれを探したらよいのか逆にわからないところがあるので、端的にアイコンなどでイメージをわかりやすく、動線を引いてあげるところも修正が必要だと思うし、小川委員がおっしゃったように、ユニバーサルデザインというものがあるが、誰もがわかりやすいようにしていくことが大事かと思っている。

また、沖田委員が言われた、スマホで見たときに全然わからないという部分も、スマホはスマホ用のサイトをきちんと最適化すべきだと思う。そうしたニーズに応える必要があると思っている。

出されてない方でも何か意見があればおっしゃっていただければ、よろしいか。では先に進める。

画像・イラスト・アイコン関係のところ。大谷委員よろしく願います。

大谷委員

先ほどのことと重複するところもあるが、メンバーというのか、幾つか情報への入り口があるが、そうしたものについては最初の画面で一通りあると選びやすい。写真を縮小してでもそうしたものが一通り入って、トップ画面からいろいろなところに入り込めるようなものがよいのではないかということで上げている。

川神委員

これはもう、暮しだとか子育てとか、何らかのことを文字で書くよりは簡単なアイコンにするのが今の流れなのだろうと思っている。よくいろいろなまちのキャラクターがいるが、僕は浜田議会君くらいのキャラクターをつかって、それが説明するような。400年のときに誰がモデルか知らないが浜田先生というのがいたようだが、あのような形で例えば議会君というのが、吹き出しでいろいろな説明をしているような。既存のものを使うのではなく、そういうことも考えてやると遊び心があって、より市民に近づくのかなと思っている。

村武副委員長

私はトップページの画像が、今皆で撮った議場での画像になっているが、ここをもう1画面くらい展開できるような、そのとき

に合ったような画面に展開できたらよいと思った。

三浦委員長

私の意見の二つ目。改選後にそれぞれの議員が個々のウェブサイトやSNSを発信されていると思うが、そういったところも掲載してよいのではと。以前はSNSの各アイコンを掲載して、そこから個人のサイトに飛べるようにしていた。今はそれができないので、改選後、また新たな情報を皆から取って掲載するようなところをやったほうがよいのではないかと思っている。

肥後委員

次、ほかページとの連動ということで、肥後委員お願いします。

浜田市議会のホームページということだが、ほかページとの連動にわけてもらって感謝する。浜田市議会で最初検索するよりも浜田市役所のホームページを見て、市民が調べ物や興味のあるところを引いたときに、浜田市議会が左の真ん中下くらいにあったのだが、茶色で、文字が「市議会」の3文字で、これは入り口としては市民も入ってくる気にならない、ドアが閉まっていると思ったのでこういう意見を入れさせてもらった。先ほどからあるように、もっと市議会に誘導できるような方向のトップページをつくっていただきたい。

大谷委員

そこに示させていただいたとおりではあるが、市議会で論議していること、話題にしていること、市民が関心を持っていること、それが市議会からも、その関心事に飛べるようにしておく、いろいろなところから市民が関心を持っているところに入れる、そういう利便性は大事なことで上げている。ただこれは、時期によって話題が変わる可能性があるので、都度変えていくという手間などは少し問題かとは思う。やはり市民目線に立って、市民が関心ある事柄がいろいろな入り口からたどり着けるような、という意味で示している。

川上委員

最初に出た、浜田市のトップページの中に議会のトピックスをという案と考え方は一緒なのだが、そのトピックスの中に概略を入れて、そこから中に入っていける形にしてトピックスの内容がしっかり見られる形にするのがよいのかと。そうでもしないと、なかなか中まで入ってこられないのではないかと考えたので。

三浦委員長

この項目についてほかの委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ではその他に移る。まず大谷委員からお願いします。

大谷委員

10年以上も前の資料も出ていて、その意味では親切なところもあるが、逆にそこまで残しておくとは放置しているかのような印象にもなった。ある程度のところについては、どこかで検索して出てくるようにはすべきと思いながらも、最初の画面の中ではなくてもよいのかなということで。他市の状況も踏まえながら整理していくのも一つの方向性かと思った。

小川委員

トップページのところに検索窓があるが、これはGoogle検索になる。結局知りたいのは議会のサイト内に自分が探したいワード検索ができる機能というのは技術的にどうなのか僕らも詳しくはわからないのだが、Google検索に飛んでしまって全部のネットワークの中から記事が出てきてしまう。知りたいのは議会の議事録なり、記事も含めてだが、そこにたどり着きたいのに、今はできない。そういった検索機能を追加してほしい。

それに関連するが、例えば陳情名などを入れると、それは何年の何月の定例会議に出された陳情かにたどり着くと、すごく目的に到達しやすい気もしている。議事録についてもその委員会や全員協議会のもとのレジメがなかなかない。それぞれの議事録にはあるが、もとになったレジメでそのときにどういう議題が審議されているか見るときに、それに載っていればあとは詳しいところを見たいのだが、もとになる目次やレジメは掲載したほうがよいのでは。

ほとんどのところはワンクリックで表示されず、ダウンロードされるファイルが多い。これを開こうかと思ったが見たら勝手にダウンロードして、保管されたファイルをクリックして開かないとそれが確認できないというのは不便なのだが。多分ほかの議会サイトでも結構それが使ってあるもので、それが一般的なのかと思うが、知りたいのはそれを見て必要だったらダウンロードしたりプリントアウトしたりするのだが、必要なければ、こういう内容なら要らないとなるのだが、それがツークリックになってしまうのが少し不便だと感じた。もし改善できればどうかと思う。

三浦委員長

私は、先ほど大谷委員もおっしゃったのだが、たくさん掲載されているのはもちろんよいのだが、ページ内の情報量があまり増え過ぎるということにつながると思うので、例えば一定程度、過去3年のものは年単位でくくって、それより過去のものはこちら

とか、そこにまとめてしまう。そのように少し。全部載せるのはアーカイブとしてはもちろんよいが、見せ方と情報を掲載していくのは少し整理したほうがよいかという印象を持っている。

肯定的な意見ももちろんある。村木委員お願いします。

村木委員

議会における審議、本会議や委員会や全員協議会の内容が、今はYouTubeで見られること。資料、結果等も検索・閲覧・視聴できるということで、特に問題を感じてない。

またそれに併せて、議会日程や構成、政務活動費のそれぞれの、出さなければならない一覧なのかもしれないが、事細かく報告されている。議会広報も確認できるので、特に問題を感じない。

ただ1点、自分が今までやった中でなかなか行き着かなかったのが、特別委員会の提言など。議会の取り組みという右端から下っていくというので少し、こういうのがトップページにあったほうがよいのだろうとは思ったが、特に問題を感じないという回答をさせていただいた。

沖田委員

繰り返しになると思うが、パソコン・タブレットで見るならさほど不自由は感じなかったというのが率直な意見である。あとは、大津市議会を参考にさせていただければ。

上野委員

私も情報が大変多くて不自由も感じない。ただ最初に言ったように、もっとあっさりしたらよいと感じる。

三浦委員長

最後に数名の委員がおっしゃったが、情報量としては、出せるものは積極的に出していて、かつ動画の配信などもしているので、発信している情報量としてはきちんと出しているのかと思う。ただ、その情報を取りに行く動線が少し複雑だったり、訪れた方が探しにくかったり、少しわかりにくい部分があるのは複数の委員の感想・意見からも、共通認識として感じている。特にスマホの最適化。スマホから見たときにきちんと見えないといけないとか、ぱっと見たときに直感的にわかりやすいほうがよいとか。あとは議会として今伝えたいことをしっかり伝えていく。記録して探してもらっただけではなく、こちらから伝えようとする意識もホームページの中に入れたほうがよいのでは。デザインはそれに伴ってくると思うので、そうしたところの大きな意識は、印象としては皆同じような印象を持っておられるのかと思う。

あとは肥後委員、川上委員から少しご指摘があったが、市議会

のほうにバナーが貼ってあって、浜田市のホームページの中に市議会ホームページを作ってもらっている感じなので、それにしてもきちんとそこからも市議会に動線が引けるように。外部とのリンクなども配慮が必要なのかと思っている。

今回は皆に一度ざっとホームページを見ていただき、このように意見をいただいたが、リニューアルするとなれば場合によっては予算要求しなければいけない場合もあるし、市のほうで今更新作業や議会ホームページの作業をしていただいているが、こうしたリクエストを担当課にしたときに、抜本的に修正が、新規予算を計上しなくても今の作業内でしてもらえるのかどうか、こちらで一度預かり、また皆にその状況をお戻しするといった流れで、また時間を取って皆と意見交換をしたい。

(2) その他

三浦委員長

何か関連してあるか。

(「なし」という声あり)

ではホームページについては一旦置かせていただく。

4 広報広聴機能の整理について

(1) 今後の取組方針を協議

三浦委員長

小寺書記から今配信された資料の説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

配信資料のとおり、コロナ前後で少し活動が変わったところがあるので、整理をしていただいた。特に議会報告会については以前やっていたワークショップ型での開催は避けようということで、それにかわる取り組みとして、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）などに取り組んだ経緯がある。

今またコロナの蔓延情報もあるが、そうしたところを踏まえて今後、当面どのように広報広聴機能を整理していくか。活動をどのように行っていくか。この整理を参考にしながら皆と議論していきたい。議会報告会などを含めて、それに限らず、新しくこういうことはするべきではないかなど、全般的に意見を頂戴したい。

上野委員

私たちの地域は12の自治会があるのだが、毎年ここで総会がある。その総会が今年はほとんどなかった。読者アンケートをまち

づくりセンターに集めに行っても1か所もなかった。そういった関係でまちづくりセンターの方やいろいろな方から話を聴いた中で、地域井戸端会などもしないのか、選挙が終わって議員は何もしないのかという言い方をあちこちで聞いた。今のコロナ禍の中で人を集めてはできないから、ぜひ言いたいことがあればまちづくりセンターにある箱の中に入れてくれ、議会でそれを無駄にはしない、皆で話し合っただけで活用すると言ったのだが、ある高齢者が、選挙が終わったのだから皆を集めなくてよいから何かしなければおかしいだろうという方が3件くらい、旭地域内で電話があった。そういう方には、言いたいことがあれば今の時期ではできないので、まちづくりセンターの箱にぜひ意見を入れてくれ、それ以外に何かあれば伺うと言うのだが。旭地域は地域井戸端会などでもかなり人が集まっていた。そういったものがないので何をしているのかという気になられると思う。一番大事なのは、まちづくりセンターの意見箱に1件も入ってなかったということで、まちづくりセンターの職員の方と一緒に、何とかそういう声を寄せてもらうよう皆でやろうではないかという話はした。

三浦委員長

ほかにはいかがか。議会報告会という、議会からの、当時開催していたときは5月の実施だったか、予算が通った後に今年度の当初予算はこういう形になったということ議会報告会に出向いて行って、こちらからもそういったところをお伝えしながら意見を聞いてくるということ年度当初やっていたのだが、確かに今はできてないので、どちらかという聴く側の活動は充実してきたかと思うのだが、議会は何をしているのか、情報を伝える部分でははまだ議会だよりやホームページなどといった形になっているので、確かに直接出向いて何か説明したりお伝えしたりする機会は少なくなっているかと思う。どうだろうか。

沖田委員

常々思うが、読者アンケートで必ず2、3件見られる意見は、声を聴いてほしいという意見である。要望も当然あるのだが、それ以上に話を聴いてほしいという声は、肌感覚だが多い気がする。

確かに前期より発信力もかなり充実してきたという印象は受けている。ただ、何となくだが、まだまだそれに市民が、議会が発信する情報を手に取ってくれてない現状も少し感じている。どちらが先か後かの話ではないが、もう少し掘り下げるともっと小さ

く、人の話が聴ける機会の充実が必要と思っている。

ただ、いかんせん今はコロナの状況なので、なかなか難しいだろうが、そういうことも検討されたらいいかと思う。

肥後委員

先ほど沖田委員がおっしゃったように、今はコロナ禍で。ここに広報機能と広聴機能と二つに分けてあるが、広報機能に関しては、こちらから発信という形だと思うが、これはコロナ禍なので今は我々が出向いてお伝えすることが、好意的に捉える方はよいが、困る方も当然おられるので、難しいところがある。では難しいからで話を置くのではなく、先ほど議論があったホームページなど、情報発信、こちら側から市民に投げかける情報の強化に、コロナ禍がおさまるまで取り組む。

情報というのは、取りに行くものでもあり、発信していくものでもある。攻撃と守りと両方という考え方なので、今はこちらから出向くことは難しいが、その分SNSなりホームページなりでどんどん見てもらうように頑張るって動くというのが一つ。

あと広聴機能だが、これは非常に充実してきていると思うが、コロナ禍でできるとすると、請願と陳情はどのみちやる。そうなるここしか、現在コロナ禍でできることはないのかなと。読者アンケートについても私三つまちづくりセンターを回ったが、職員と話してもやはり以前からあまりないというのがあるのと、決められた場所で名前を書かずに提出するにしても誰かわかってしまうような感じなので、市民の意見としては少し書きづらいというのがあって、なるほどと思った。

広聴機能もそうなりと、広報と一緒にこちらからできるところが限られてくるので難しいと思うのだが、その中で知恵を出し合って、より幅広い意見を市民から聴く努力をしないといけない。

小川委員

議会報告会は議会基本条例に載っているということで、これはやるべきではないかという議論もあったが、これについてはやはり方法とすればウェブ会議ができるかどうか、それで取り組めるかどうかは少し検討したほうがよいかと思っている。

あと、市民一日議会はコロナ禍で1回実施し、賞も頂いているのだが、さまざまな課題があり、それも整理されてない中で今後どうしていくのかについては、取り組みとしてはよい取り組みだが、なかなか課題がある。例えば毎年定例的にやっていくのか、

あるいはどこかの議会のように定例会議ごとに4回やるような方向にするのかなど、今後の方向性についてもまだ出てないと思っている。したがってこういう点についても少し検討の余地があると思う。コロナ禍がどこまで続くかもあるが。

次の、地域協議会との意見交換会についてだが、それは参加された方はぜひとも続けてほしいという要望があったが、これもなかなか、どれくらいのペースでやるかとなったときに、担当した三隅の地域協議会は、とにかく年に何回もやってもらうことを前提に、その取っかかりとしては今回この程度みたいな感じだった。そういう要望からすると地域協議会の方々からすれば、もっと頻度を上げてほしいということはあると思うが、それにこちらがどれだけ対応できるかについての方向性も、恐らくまだ出されてない。そうした課題を少し整理しながら広報広聴機能の充実については、そのあたりが課題になっているので、その検討をしながら今後の方向性を考えたほうがよいと思う。

川上委員

私は前も言ったかもしれないが、町内会ごとに常会などいろいろなことをされるので、その場所へたくさんの議員でなくてもよいので、出かけて行って、現在浜田市がやろうとしていること、議会が問題視していることの説明くらいはする必要があるのではないかと考える。その理由は、去年の暮れから1月ごろに向けて、何か所かの町内会から、これとこれについて浜田市がやろうとすることと問題点、議会が考えること、あなたが考えることの説明をしてほしいという話があった。一番近いのが3月末に来いと言われている。そういうのも少し考える必要があるのかと。議会としての役目かと考える。検討する必要があると考える。

村木委員

川上委員と同じかもしれないが、やはり地元から呼ばれることがある。現に1月に入って中止になったが、団体や自治会から呼ばれて議会の報告をしてほしいということがあるのだが、ここに書いてあるように、コロナ前・コロナ禍と分けてあるが、コロナ禍がもしなくなった、落ち着いたとしてもやはりこのことは続けていく必要があるのだろうと思っているし、その中ではまだ議会だよりとかminiについては、その場で話す材料というか、テキストになると改めて思う。実際私自身も、実は1月の終わりに自治会があるのだが、2月の広報が大体1月の終わりくらいに配ら

れるので、それを使って議会報告をし、さらには読者アンケートの話もできるのかと思っている。そういった場で、Y o u T u b eで流れているとか、こういったm i n iという形で合間に、インターネットにはあるが出ているということもP Rできるのかなと思っているので、自治体や各種団体のつき合いといったものも大事にしなければいけないし、まさにそれがこのコロナ禍で広報広聴で使われている、はまだ議会だよりやm i n iがすごく役立っていると思っている。

三浦委員長

少しお伺いするが、村木委員や川上委員が地元から、自治会から少し説明を求められるのは、それぞれの、村木委員に求められるのか、議会に対して来てくれというリクエストなのか、どうか。議会として回ったほうがよいのか。

川上委員

おととい私のところには、金城は趣の変わる議員が3人いるので、私、永見、柳楽の3人来てくれと。要するに色が変わる方が来て示してくれということなので、議会に対する依頼だと思う。

村木委員

私のほうは個人である。地元だったり隣の自治会だったり、組織だったり。

川神委員

今コロナ禍なのでいろいろな手法に関しては、出ることは基本的に難しい。したがって既存の媒体をいかに有効的に活用するか。意外とY o u T u b eやホームページを見て、あとはケーブルテレビを見られてある程度情報を取っておられるので、見ている方は見ている。ただ、その方々が求めておられるのは、表向きに出てくる情報のその手前の経緯、なぜそういうことが起こっているのか。例えば現在のことはわかるがなぜそれが起こって、どのような成り行きになりそうなのか、その中で自分たちの意見も言いたいというのがある。断片的な現在のものだけを見ている情報ではなく、実は情報の裏を知りたいというのが結構ある。お会いしなければ話ができない。そのあたりは大変申しわけないがこういう状況の中で厳しいという話はしている。ただ向こうも、市民に対して常に意識して、こういう状況だから出ていけないのだと、決して放置しているわけではないというメッセージがどこかに出てほしいということなので、紙ベースにしても何にしても、今は行けませんがコロナ禍が落ちたらこういう形で見ていきたいというメッセージをどのように出すかということだと思っている。

三浦委員長

今ご指摘もあったように、そうしたところではできる限りの方法を用いて伝えていく必要があるのかと思う。最初に上野委員からも、地域の方々の声ということで、そういうのをやらないのかというご指摘を受けられたということもあるが、事情をお伝えして理解してもらいつつ、できることをこういう形でやっているというメッセージは伝えていく必要があるのかなと思う。

村武副委員長

例えばSNSを使うと先ほど肥後委員も言われたのだが、それを誰がどうやって担当するかというところもあるかと思うし、もしかしたら事務局の負担も多くなるかもしれないのだが、例えばFacebookやTwitterは若い方や多くの方が見ていると思うので、まずは議会が今こういうことをやっている、例えば定例会議が開会したとか、委員会があったとか、そういったことだけでも発信すると、そこからホームページに飛ぶとか、議会だよりをまた見てみようかとか、つながるのではないかと思う。

コロナが現状ある中でできることが限られてくると思うので、そういったところからやってみたらどうかと思う。

あと例えば、はまだ議会だよりもきちんと、コロナ後はこういうことをやっていくということを書いてみる。今はアンケートでご意見をいただきたいとかいうメッセージを送ることもよいのかと感じている。

三浦委員長

さまざまな意見をいただいたが、例えば市民一日議会は、事前の準備期間などを考えると早目に実施可否を決めていく必要があると思っている。それは議会報告会でもそうなのだが、通常だと春と秋なので、春に実施しようと思えばもう準備を始めないといけない時期になる。

今各委員からいただいた意見も多岐にわたるのだが、それぞれ伺われる中で改めて、議会報告会の実施方法について少し意見を。実際に市民一日議会も含めて、具体的にこれは開催すべきだと、議会報告会はこういう形でやるべきだということまで踏み込んで意見を頂戴できたらうれしいのだがいかがか。個別にというか、全体でのバランスを見ながら、これを実施すべき、であればこれは控えてもよいのではとか、全体の話になってくるので個別にこれを、市民一日議会についてまずやるというのがなかなか議論しにくいと思うので、全体を含めてご意見をいただきたい。

小川委員

小川委員、先ほど、市民一日議会はルールの整理が必要だということもあったのだが、市民一日議会の開催等についてはどのように考えているか。

準備も含めた場合に今年度1回やったもので、年に1回程度ならあまり負担にならずにできるのではという気持ちがあるし、コロナ禍がしばらく続いたとしても、あの形でやるなら、いろいろな配慮はすべきだが開催は可能ではないかという気がする。

議会報告会については、やるとすれば出向くのではなくこういう場所と各地区とをZ o o mでも結んでやるのが可能なら、一応議会基本条例にあるということからすれば、最大限それを追求することも必要かなと思うが、それも準備等があるので、5月にやってみるならそれに向けて少し検討を始めることも必要かなと。その程度で、それ以上については今の段階で新たな取り組みは難しいかなと思う。

地域協議会との関係についてもどうするかはまだ決まってない。これもそれぞれの地域協議会はやってほしいと共通に出されているが、議会がそこまで年に何回も対応できないとすれば、これも年に1回くらいどの時期にやるか。例えば春に議会報告会をやるなら秋に地域協議会と1回やってみようかとか、そういうスケジュール感も含めて少し検討したほうがよいと思う。

三浦委員長

先ほどオンラインでとか、Z o o mでつないでというのは、開催は1回でそのときに各エリアから参加してもらおうとか個別に参加してもらおうとかいうイメージか。先ほど春と秋の開催スケジュールのご提案をいただいて、例えば今まで議会報告会で出向いていた部分を議会報告会はオンラインでやる、それを受けてご意見があれば地域協議会と秋に意見交換会をするので、そのときに地域代表者に伝えてもらう形で補完するのも、発信もできるし受け取ることも地域協議会を通じてやる形だと整理もつくかなと。オンラインという手法ももちろん検討はすべきかと、ご意見伺いながら思った。

ほかにどうか。市民一日議会と地域協議会との意見交換会と、あと議会報告会については実施部分を具体的に検討していかないといけないので意見をいただきたい。今日結論を出すわけではないのだが。いただいた意見を今回は持ち帰ってまた。

川上委員

昨年やった市民一日議会だが、多少の問題があったにせよ市民と議会とがつながっている部分では非常に大切なことだったと思うので、これは継続すべきだと思うし、かといってそれを飛ばしてしまうと今度は何をすればよいか道が見えなくなるので、間違いなく今年もやるべきだと考える。

あと残りの地域協議会との話し合いなどについては、機会を見てすればよいことで。問題が起きたときに一応考える形にすればよいかと思う。

三浦委員長

課題を整理して基本的には実施するという形か。そのほかいかがか。

川神委員

市民一日議会に関しては皆にお願いした立場もあるのだが、本来これが始まったのは出向いていくことができないコロナ禍の中で、感染防止をきちんとしながら議場で市民との距離を縮めることと、ここへ来ていただいてきちんと意見を聴きたいというのが、もともとの発端である。ルールをあれこれ議員の中で議論があったが、本来とてもすばらしい、評価もしていただいているように重要な取り組みだと思っている。ただ議会側に一定のルールなり取り扱いに対しての十分な議論がされてなかった、ルール化されてなかったことが課題であって、ぜひやっていく必要があると思っている。コロナ禍だからこの方針が出たということも考えると、今後春までにこのコロナ禍が落ち着くかどうかはまだ微妙だが、間違いなく徐々に対策ができていくので、いずれは平準に近い状況までは変わらと思う。そのときも含めて市民一日議会は、今から着実に育っていく必要があると思っている。

それと地域協議会等々はとても有効だと思うが、まだ基本的に今地域協議会がコロナ禍の中で開かれるかどうか。これが1点。もしも開かれるなら最少人数を議会から送り込んで、そこで議論する方法も。議会側は参加人数を縮小する方法も含めて、今後は状況を見ながら地域協議会との意見交換会はすべきだと思うし、さらにはその他の団体、各種子育て団体からさまざまな団体、こういったところとどのような話し合いをするかというのも今後は一つ考えていかないといけない。これもコロナ禍がある程度和らいだという前提状況の中で、そうした準備もしておかないといけないと思っている。

三浦委員長

そのほかないか。一応今後委員会としてもそれぞれの事業をどのようにしていくか、組み立てていく大事な議論なので、ぜひ皆からできるだけ多くの意見を伺った上で検討していきたい。

肥後委員

逆にコロナ禍だからこそ今できることを一生懸命考えて最善を尽くすべきではないかと。先ほどからお話を聞いていたら、市民一日議会はそういう経緯で、逆に来ていただいて感染対策をして開いたのだというのがよくわかった。地域協議会との意見交換会も、やはり大事だなと。ただ出向く、また集まってもらうのが規制などかかるようならZ o o mなり動画配信、もしくは双方向で意見を言い合うのも大事なことだと思う。そういうのも逆にチャレンジなことだと思うので、そういうことができる委員会であってよいのでは。

私からの意見としては、私も去年の秋まで会社員だったので、一つ意見として言うが、中小企業等によっては人の集まり、何名以上とか、多分今はもっと厳しくなっているのではと。飲食以外でも集まる場に出向くとか。働いている人はどの会社においてもあると思うので、そういった方が来られなくなるのも開催時期によっては、コロナ禍の状況次第によってはあるかと思う。なるべく若い方からご年配の方まで意見が言えるような場を提供してあげたいと思った。

上野委員

こういう状況ではあるが、市民一日議会にしても何でも、やる姿勢を見せながら何でも取り組んでいかないと、今の状況だからできないではなく、やるという形で取り組んでいただきたい。

村木委員

私自身、議会報告会について広報もあるし広聴もあるのだろうと思っている。確かに人数が多い少ないというものもあるが、議会報告会がどうにかしてできないかとはずっと思っている。例えばZ o o mにしたとしても人を集めるのには変わらないので、そうすると市民一日議会という形でやるのがコロナ禍においては大切なことなのかと、改めて思ったが、やはり議会報告会はどうにかしてできないかとずっと思っている。

大谷委員

市民と議会とが意思疎通、コミュニケーションしていく場面として今話題になっている市民一日議会にしても地域協議会にしても、こういう場面の一つなので、そうしたものは先ほどから言うように意思疎通を図っていく意味では重要な場なので取り組んで

いくことが大切と思う。コロナ禍の状況もあるので、その状況を説明しながら、今控えるべきであれば控えるべきという発信をしなければいけないし、見通しが立つのであればこの時期を予定するという案内を早目にしたほうが安心されるだろうと思う。幾つか新しい取り組みにもなるので、議員側の意思の統一という意味では、こういうスタンスでやろうということはあらかじめお互いに認識しながら向かっていくことが大切かと考えている。

沖田委員

やはりコロナ禍といえど準備は必要だろうと思う。去年初めて市民一日議会、それは議会内でルール整備や課題もあるだろうが、ただあれはケーブルテレビでも放映されていたし、幅広い年齢の方が出られていたということで、かなり見られた方が多かったので、これは浜田市議会としてやっていくべきだろうと思っている。

その中で去年、地域協議会との意見交換会をやって、私は弥栄に行ったが、結構よい内容の話し合いができたのかと思っている。これでまた地域とのつながりもできた。

先ほどよりコロナ禍で井戸端会と議会報告会ができない状況だが、これから先の状況はまだわからないので、やはりここも準備はしておくべきだろうと思う。地域ということで考えると地域協議会との意見交換会という間口を開いたので、それとは違う子育て世代とか、教育委員会と意見交換会をしている市のPTA連合と議会との接点が全くなかったのだが、いろいろな団体とまだそういう取り組みもないので、今後はそういったところも視野に入れて、広聴機能を充実していくべきではないかと思う。

村武副委員長

市民一日議会についてだが、今年度開催、コロナがあったということもあって、対策をしっかりと実施したというところだが、犬山市に視察に伺ったのは令和元年7月だったが、そのときはまだコロナがない中、広聴機能を高めたいというところで行った。今年度コロナもあってこの開催に至ったわけだが、コロナに気をつけながら広聴機能を高めるということで、市民一日議会はぜひとも今年度も進めていきたいと考えている。

それと地域協議会だが、地域協議会との意見交換会は本当によかったと思う。ただ、コロナもあるのでそこを踏まえて、オンラインの意見交換会などもできるのであればしていきたいと感じた。

議会報告会や地域井戸端会だが、これも開催したほうがよいと

は思うが、コロナが大きな壁になっている。全国的に見ると結構オンラインで意見交換会などを開催しているところが増えている。私としてはオンラインの例えば議会報告会や井戸端会など、市民にオンラインに入っていただいての意見交換会みたいなものができたらよいなど、以前も申し上げたかと思うがやってみたい。

三浦委員長

皆から多岐にわたる意見をいただいた。提案などもあったと思う。今日いただいた意見、ある部分では指摘みたいなものも含めて、市民一日議会のルール確立など。そういったところを踏まえて、一度正副で少し整理して、次回委員会のときに、こういった事業の実施方針、ご提案するような形で一度お預かりしたいと思うが、そのような進め方でよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

はい。では広報広聴機能の整理はこのところでとどめたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

5 その他

(1) 島根県立大学との共同研究について

三浦委員長

この案内が来ているという説明だけよろしいか。

小寺書記

市と大学で課題を見つけて、それを大学の力も借りながら解決に向けて糸口を探っていくといった取り組みを毎年されている。担当課が地域活動支援課になるのだが、そこから全庁的に令和4年度に島根県立大学との共同研究に取り組んでみたい案件がないかという案内が来ていた。議会としても当然できることがあるのではなかろうかと考えての提案である。

三浦委員長

議会事務局にも同様にその案内が来たようなのだが、その話を受けて、これは提案だが、活動方針をお示ししたときに議会広報広聴委員会でも主権者教育について何かしら議会としてのアプローチを考えていきたいといったこととお話しさせていただいている。例えば大学との連携のところ、主権者教育の現状とこれからについてということで、一緒に取り組むような形を取ってみてはどうかというのを考えたところである。選挙権の年齢が引き下げになったり、投票率が伸び悩んでいたり、あるいは議会改革の特別委員会でも、議員の若者のなり手不足を課題として取り上げ

られている。そのような社会状況を踏まえる上で、特に若者への主権者教育が非常に重要ではないかと考えているということ。

現在議会に対しての距離感や期待感といったものがどのような状況にあるのか、現状を把握したり、ほかの国あるいは他市でどういった主権者教育が取り組まれているのか、事例をご紹介いただいたり、そういうものを比較しながら浜田市としてどのような主権者教育に取り組むべきか議会側で考えてみるのもありではないかと思った次第である。

これをどの委員会で取り組むかというのもあるのだが、議会広報広聴委員会の取り組みとして提案していたものなので、皆に提案してみるものである。この後どのように議会事務局で判断されていくのかわからないが、場合によっては議長団のご意向もあるかもしれないが、少し議論してみてもよいかと思って投げかけてみた。どのようなものだろう。

川神委員

大変結構なことだと思し、主権者教育は今改めて注目されている。多分今、教育委員会などとの関連、PTAなどの中でも、主権者教育をもっとしなければいけないのではないかという話の中、教育委員会はどのような立場かわからないが、そのような話が出てくるのでタイムリーではないか。それと、今まで個別のゼミの先生が議会に来られて、議会の仕組みやさまざまな取り組みを生徒に話してほしいということで今まで来られて対応したことがある。今度は一歩踏み込んで、では一方的に話をするのではなく、例えば県立大学の先生や生徒と、共通テーマとして考えていく取り組みを仮にこの議会広報広聴委員会が窓口となってしまうことは、個人的にはとても有意義なことだろうと思っている。

小川委員

主権者教育については非常に重要だという認識はずっと持っているが、ただ所管は恐らく、教育委員会や選挙管理委員会だと思う。ただ、僕も主権者教育を考えたときに議会としてのいろいろな取り組みで、学校でも模擬的な投票行為をやるとか、選挙もどきみたいなものを作って、形だけでやるような形はどちらかというところ主流になっているのだが、そもそもなぜ教育現場で主権者教育が進んでないか。その根底は、委員長がおっしゃったようにヨーロッパなどと比較すると全然違うということもあると思うのだが、そういった点について県立大学との共同研究という意味では、

そういう切り口もとても重要だと思っている。後からそういう形にすれば何となくやっている感を出しているのが、あちこちの議会を見てそういう感じにしか受けとめてない。それよりはもう少し共同研究という位置づけでもっと深い部分を追求しながら、本当に子どもたちに小中学生時代からでも政治に少しでも関心を持ってもらう、そこと自分たちの地域や学校とどう結びついているか、あるいは議論することの必要性だとか、どこまで実践できるかも含めてきちんと研究していくところが必要だろうと思う。所管は総務文教委員会かなと思った。仮にそれが議会広報広聴委員会のできるならとても歓迎するし、協力しながらやればよい。

三浦委員長

ほかにないか。今小川委員からも指摘があったように、確かに所管の整理みたいなものを少しする必要もある。これはどのように進めていくか。共同研究を提案するときは委員会からではなく議会からの提案になると思うので、どうしたほうがよいのか。

小寺書記

正副委員長とも相談し、今回の話にはなっているのだが、議会広報広聴委員会でそういうことを考えるのも一つあるとは思いますが、当然、総務文教委員会、福祉環境委員会、産業建設委員会、議会改革推進特別委員会でも同じようにテーマを持って県立大学との共同研究を進めてみるなど、いろいろなアプローチの仕方があるとは思いますが。結局議会として共同研究を進めていくことになるので、複数出すことができるかどうかはまず一つあるのと、ほかの委員会としても何かあるのかどうかは一度確認した上で進めていくのがよいのかなという気はする。

三浦委員長

場合によっては議会内でプロジェクトチームをつくって対応するということもあるかもしれない。委員会所管でなくて。

笹田議長

あまり所管などを気にしなくてもよいのかと思ったりもしている。以前は議会改革の特別委員会でやっていこうという話もあったが、やはり広報広聴というところで、こちらでやってはどうかという話もあったので、所管は気にせず事務局を通してこの委員会でしっかりやっていくのだということを見せると、まだ入り口のところなので、議長としては構わないかとは思っている。

あと書記が言われたように、各常任委員会でさまざまな問題があって、それを一緒に研究したいというのであればもちろん事務局を通して学校側にお願いすることもあろうかと思うが、これだ

け主権者教育が遅れている中で進めていくというのは、別にこの委員会でも問題はないかと思っている。

三浦委員長

このテーマについて共同研究のテーマとしてぜひ申請してほしいという要望は事務局へ当委員会からも伝えて、あとの取り扱いや整理については、議長団なのか事務局なのかで整理していただく形になると思うが、我々としてもぜひ取り組んでいきたいということで提案させていただく方向でもよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのような形で進めさせていただく。ご理解感謝する。

その他で小寺書記から。

小寺書記

資料を急に出すことにはなるのだが、さきの議会運営委員会の最後のところで、行政視察について変更点があったかと思う。出向くことは基本的にしないというところだが、その代替として、委員会で研修を受ける分に視察旅費を当てることができるようになった。よって早速ではあるのだが、今度2月15日に広報広聴のことで議会だよりのクリニックみたいな研修がある。これを委員会として受講してみるのはいかがでしょうかという提案である。日程もあるので難しいかもしれないが、皆にご意見をいただければと思う。

三浦委員長

情報提供ということで、これがというわけではないのだが。

小寺書記

お金のことだが、受講するのに1人当たり1万5千円かかる。これは午前・午後の2部制になるのだが、二つ併せて受講すると2万5千円というような内容のものである。

三浦委員長

ちなみにそれは一人が2万5千円か。

小寺書記

はい。

三浦委員長

そうするとこれは、10人で受けると25万円払うことになって、費用対効果はどうか。講義の中身ではなくそれを全員で受けるのはどうかと、感じるところもあるのだが。これを絶対受けるというのではなく、今日の議会運営委員会であったように視察旅費を所管委員会の調査事項に関するオンライン研修の受講料に活用することを可とすることになったので、直近でこういうのもあるよということでアナウンスさせていただいたものである。

そうしたら日程も詰まっているし、とはいえ限られた費用なので、今後この委員会でこういった研修をするべきなのかを一旦皆に考えていただいて、ご提案いただければ。通常の出向く視察の

ときにもこういうところを見に行くべきではないかというご提案があつてから研修の設定をしていると思うので、皆で研修内容を少し検討していただければと思う。

ほかに皆からあるか。

(「なし」という声あり)

では次は日程か。小寺書記。

小寺書記

次回の議会広報広聴委員会についてだが、3月定例会議が開会する前の議会運営委員会がある日の午後ということで、2月17日木曜日の午後1時30分からということで設置しているが、皆のご都合はいかがだろうか、よろしく願います。

三浦委員長

次回は2月17日13時30分からとする。議題は全て終了した。以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[15時 12分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀